

PATENT
0649-0930P

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant: NAKAGAWA, Hayami Conf.:
Appl. No.: New Group:
Filed: November 25, 2003 Examiner:
For: DOOR FOR VEHICLE

L E T T E R

Commissioner for Patents
P.O. Box 1450
Alexandria, VA 22313-1450

November 25, 2003

Sir:

Under the provisions of 35 U.S.C. § 119 and 37 C.F.R. § 1.55(a), the applicant(s) hereby claim(s) the right of priority based on the following application(s):

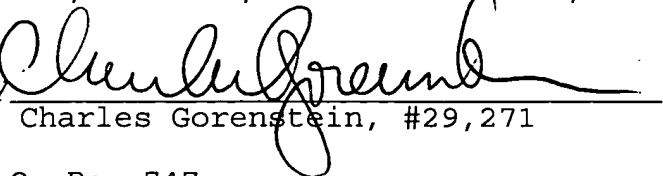
<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	2002-341784	November 26, 2002

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to Deposit Account No. 02-2448 for any additional fee required under 37 C.F.R. §§ 1.16 or 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By 
Charles Gorenstein, #29,271

CG/cgc
0649-0930P

P.O. Box 747
Falls Church, VA 22040-0747
(703) 205-8000

Attachment(s)

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

BSKB 703-205-8000
0449-0930P
Nakagawa
Nov. 25, 2003
1061

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2002年11月26日

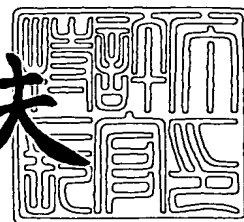
出願番号
Application Number: 特願2002-341784
[ST. 10/C]: [JP 2002-341784]

出願人
Applicant(s): 三菱自動車工業株式会社

2003年10月23日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井康夫



出証番号 出証特2003-3087694

【書類名】 特許願

【整理番号】 02J0079

【提出日】 平成14年11月26日

【あて先】 特許庁長官殿

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 3 3 番 8 号 三菱自動車工業株式会
社内

 【氏名】 中川 速水

【特許出願人】

 【識別番号】 000006286

 【氏名又は名称】 三菱自動車工業株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100066278

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 日昔 吉武

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 019220

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 車両用ドア

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ドア輪郭に略沿って環状に形成されたドアリンホースと、上記ドアリンホースの車室内側に配置されて上記ドアリンホースと車両前後方向端縁及び下方端縁がそれぞれ連結され上記ドアリンホースとの間に箱形断面が形成されたインナパネルと、上記ドアリンホースの車室外側に配置されて上記ドアリンホースまたは上記インナパネルと車両前後方向端縁及び上下端縁がそれぞれ連結されたアウトパネルとを有する車両用ドア。

【請求項 2】 請求項 1 において、上記インナパネルが上方に開口した略 U 字状に形成され、少なくとも上記インナパネルの下方端縁と上記ドアリンホースの下方端縁との間に箱形断面が形成された車両用ドア。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、車両における乗降用ドア、とくに、製造上利点の多いドアの構造に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

車両における従来の乗降用ドア 1 は、図 3 に例示されているように、それぞれドア 1 の輪郭を形成するアウトパネル 2 とインナパネル 3 とが車幅方向に間隔をおいて配置され、それらの車両前後端縁や下方端縁等の周縁部が相互に連結され、両パネル 2、3 の間に、ベルトラインリンホース 4、ヒンジリンホース 5、ラッチリンホース 6 等の補強部材が適宜配置されていると共に、ヒンジリンホース 5 に固着されたフロントブラケット 7、7 と、インナパネル 3 の車両後方側端部に固着されたりヤブラケット 8、8 とにより、それぞれサイドインパクトバー 9、9 の両端が固定されていて、サイドインパクトバー 9、9 がドア 1 全体の剛性を高め、かつ、車両衝突時にドア 1 が受ける衝撃を支持するように構成されている。

【0003】

しかしながら、この場合には、それぞれ個別に製作される補強部材やブラケット類の部品点数が多くなるので、各部品自体の精度及びドアにおける各部品の取付け精度を向上させるために多くの工数を必要とする上、各部品の管理工数もそれだけ増大することとなり、また、分散配置された補強部材によりドアの強度を効率良く確保させることが實際上容易でなく、さらには、ブラケット類の取付けに必要な接合部分が2重構造とならざるをえないため、ドア全体の重量を増大させることとなる結果、ドア1の製造に要するコストがかさむという問題があった。

【0004】

なお、車両用ドアとして、下記特許文献1に記載されたものが従来から知られている。

【0005】**【特許文献1】**

特開 2001-328430号公報

【0006】**【発明が解決しようとする課題】**

本発明は、車両用ドアの製造コストを低減させようとするものである。

【0007】**【課題を解決するための手段】**

このため、本発明にかかる車両用ドアは、ドア輪郭に略沿って環状に形成されたドアリンホースと、上記ドアリンホースの車室内側に配置されて上記ドアリンホースと車両前後方向端縁及び下方端縁がそれぞれ連結され上記ドアリンホースとの間に箱形断面が形成されたインナパネルと、上記ドアリンホースの車室外側に配置されて上記ドアリンホースまたは上記インナパネルと車両前後方向端縁及び上下端縁がそれぞれ連結されたアウトパネルとを有している。

【0008】

すなわち、ドアリンホースがドア輪郭に略沿って環状に形成されていて、このドアリンホースをベルトラインリンホースやヒンジリンホース等の補強部材、及

び、ブラケット類として使用することができるので、ドアの製造に際して従来のようにベルトラインリンホースやヒンジリンホース等の補強部材、及び、ブラケット類を多数個別に準備する必要がなくなり、このため、部品点数を容易に、かつ、大幅に低減させることができ、単一部品である環状ドアリンホース自身の精度を高めることにより、ドアの各部精度を簡単に確保してドア製造の所要工数を低減させることができ、また、ドアリンホースが環状に形成されているので、ドアリンホースの剛性を容易に高めて、強度の大きいドアを簡単に製造することができるようになる。

【0 0 0 9】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施形態例について説明する。

図 1 において、車両用ドア 1 0 は、主として、ドア 1 0 の輪郭を形成するアウトパネル 1 1 と、ドア 1 0 の輪郭に略沿って環状に形成されたドアリンホース 1 2 と、上方に開口した略 U 字状のインナパネル 1 3 とから構成され、車室外側から順次アウトパネル 1 1、ドアリンホース 1 2、及び、インナパネル 1 3 が配置されている。

【0 0 1 0】

また、ドアリンホース 1 2 及びインナパネル 1 3 の車両前後方向端縁及び下方端縁がそれぞれ溶接で連結されて、図 2 に例示されているように箱形断面 1 4 が形成され、ドアリンホース 1 2 及びインナパネル 1 3 によってドア 1 0 の骨格 1 5 が構成されている一方、アウトパネル 1 1 の車両前後方向端縁及び上下端縁がそれぞれ骨格 1 5 の外周端縁にヘム取付けされており、ドアリンホース 1 2 及びインナパネル 1 3 間の車幅方向隙間に図示しないドアウインドウガラスのレギュレータモジュールが配置されて、ドアリンホース 1 2 に取り付けられる。

【0 0 1 1】

さらに、サイドインパクトバー 1 6、1 6 の両端がそれぞれドアリンホース 1 2 の車両前方側縦壁 1 7 及び車両後方側縦壁 1 8 に溶着され、車両前方側縦壁 1 7 に図示しないドアヒンジが取り付けられていると共に、車両後方側縦壁 1 8 に図示しないドアラッチが取り付けられている

【0012】

ドア10においては、骨格15の一方を構成するドアリンホース12が環状に形成されていて、従来のベルトラインリンホース4、ヒンジリンホース5等の補強部材が果たしていた機能を有すると同時に、両縦壁17、18がサイドインパクトバー16、16の両端をそれぞれ固定することができ、ドア10に必要な部品点数を従来よりも大幅に低減させることができるので、ドアリンホース12自身の精度さえ配慮すれば、ドアヒンジやサイドインパクトバー16、16等の取付け精度を自動的に高めることが可能となり、かつ、部品の管理工数も大幅に軽減させることができ、ドア10の製造に必要な工数を容易に低減させることができる。

【0013】

また、ドアリンホース12が環状に形成されているので、ドアリンホース12に加えられる負荷をドアリンホース12全体へ均一に分散させることにより、その負荷を効率よく支持することができて、ドアリンホース12の剛性を容易に高めることができ、それによってドア骨格15としての強度を確実に増大させることが可能となると共に、従来のようにブラケット類の取付けに必要な2重構造の接合部分が省略できることにより、ドア10全体の重量を軽減させることが可能となる。

【0014】

さらに、インナパネル13が上方に大きく開口した略U字状となっていて、従来のようにインナパネルがドアの輪郭を形成している場合と比較すると、重量を簡単に軽減化させることができ、この面からもドア10全体の重量軽減を図ることが可能となる。

【0015】

すなわち、部品点数や部品管理工数の低減、部品取付け精度の向上、ドア骨格15の強度増大、重量の軽減等によって、ドア10の製造に必要なコストを容易に低減させることができる大きな長所がある。

【0016】

なお、上記実施形態例では、ドアリンホース12が従来のヒンジリンホースを

も完全に一体化しているが、ドアリンホース 12 成形上の都合等により、別体のヒンジ座金具をドアリンホース 12 の車両前方側縦壁 17 に固着するようにしても、上記実施形態例と同様な作用効果を奏することができるものである。

【0017】

【発明の効果】

本発明にかかる車両用ドアにあっては、ドアリンホースがドア輪郭に略沿って環状に形成されていて、従来のように補強部材やブラケット類を多数個別に準備する必要がなくなって、部品点数を容易に、かつ、大幅に低減させることができ、また、ドアの各部精度を簡単に確保してドア製造の所要工数を低減させることができると共に、ドアリンホースの剛性を容易に高めることができるので、ドアの製造コストを低減させることができる大きな長所がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態例における要部の概略分解斜視図。

【図 2】

図 1 の概略 II-II 縦断面拡大図。

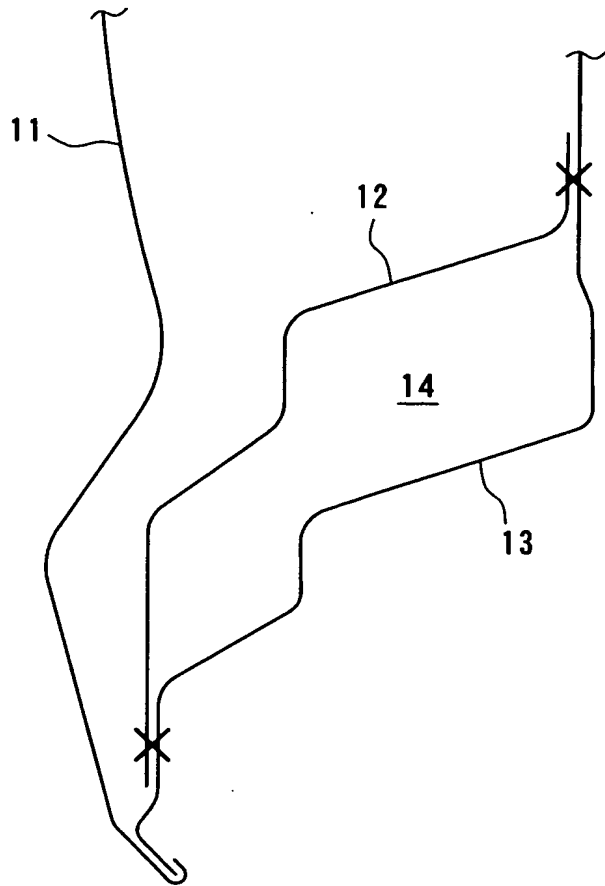
【図 3】

従来装置の概略側面透視図。

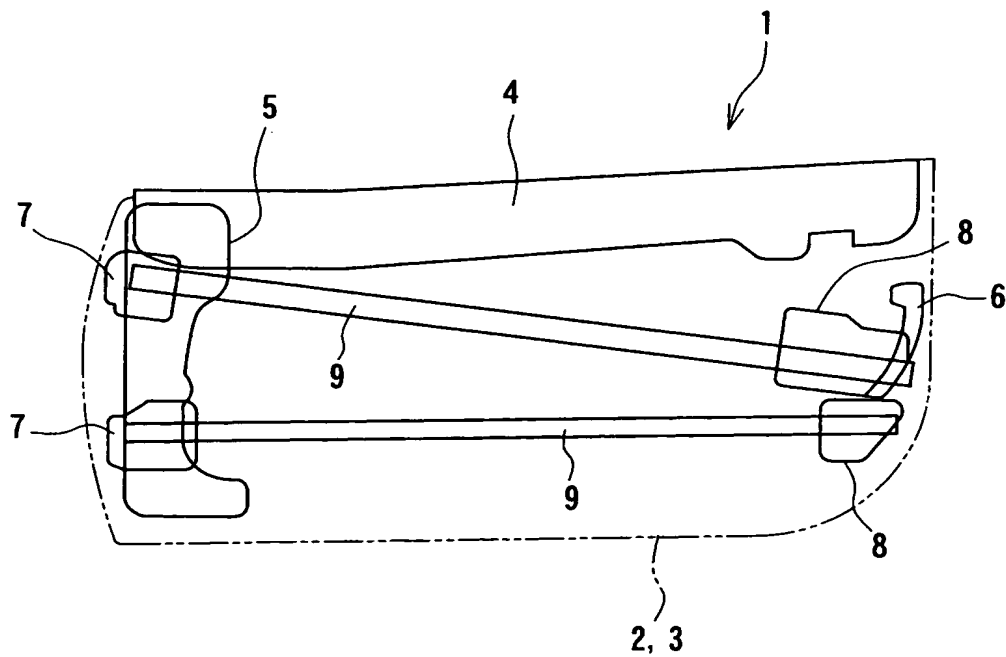
【符号の説明】

- 10 車両用ドア
- 11 アウタパネル
- 12 ドアリンホース
- 13 インナパネル
- 14 箱形断面
- 15 ドア骨格
- 16 サイドインパクトバー

【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 車両用ドアの製造コストを低減させる。

【解決手段】 車両用ドア 1 0 は、主として、ドア 1 0 の輪郭を形成するアウトパネル 1 1 と、ドア 1 0 の輪郭に略沿って環状に形成されたドアリンホース 1 2 と、上方に開口した略 U 字状のインナパネル 1 3 とから構成され、ドアリンホース 1 2 及びインナパネル 1 3 の前後端縁及び下方端縁がそれぞれ溶接で連結されて、箱形断面が形成され、ドアリンホース 1 2 の前後縦壁 1 7、1 8 にサイドインパクトバー 1 6 の両端が溶着され、縦壁 1 7 に図示しないドアヒンジが取り付けられている。

【選択図】 図 1

特願 2002-341784

出願人履歴情報

識別番号

[000006286]

1. 変更年月日 1990年 8月27日
[変更理由] 新規登録
住 所 東京都港区芝五丁目33番8号
氏 名 三菱自動車工業株式会社
2. 変更年月日 2003年 4月11日
[変更理由] 住所変更
住 所 東京都港区港南二丁目16番4号
氏 名 三菱自動車工業株式会社